

【 月例、準月例大会の成立について 】

1. 月例、準月例大会とも、事前に会員全員に開催日時・場所が知らされた大会において、12名以上の参加者がある時に成立する。
2. 月例、準月例大会とも、基本は1ラウンドの成績を以って競技する。
但し、参加人員等特別な場合、下記のとおりとする。
 - ① 当初参加者が12名以上いたが、参加者全員ハーフが終了したところで1名以上が途中棄権し、参加者が11名以下になった場合
→ 大会成立 残った参加者で引続き後半をプレイし、1ラウンドの成績で優勝者を決める。
 - ② 参加者が12名以上で、ハーフが終了したところで雨等により継続実施ができなくなった場合（尚、大会続行かどうかは事業部長(いない時は副会長)の判断)
→ 大会成立 前半のハーフの成績で優勝者を決める。
 - ③ 参加者が12名以上で、最初のハーフの途中雨等により継続実施ができなくなった場合（尚、大会続行かどうかは事業部長(いない時は副会長)の判断)
→ 大会不成立
 - ④ 当初参加者が11名以下で大会不成立、一斉スタート後、遅れて1名以上が参加の場合
→ 大会不成立
但し、ハーフ終了後、事業部長(いない時は副会長)の判断で後半のハーフを大会とすることができる。
この場合、必ず後半スタート前に参加者全員に周知徹底する。後半のハーフの成績で優勝者を決める。
→ 大会成立 後半のハーフの成績で優勝者を決める。
 - ⑤ 12名以上とした根拠は協会会員の1/3以上を目安としており、協会会員数に大きな増減があれば基準を見直すこととする。
3. 大会が雨等により開催できない場合、翌週に順延する。尚、準月例大会が2週順延し、月例大会と重なった場合、月例大会を優先する。また、順延が続き当月の内に開催ができない場合、中止とする。
4. グランドの月例大会で会場のコンディションが悪く、北公園では可能な場合(会長の判断)、会場を北公園に移し大会を実施する。この場合、連絡網を使い会員に連絡する。

【 ハンディキャップについて 】

1. 金沢区 TBG 協会独自のハンディキャップを定める。 市協会のハンディキャップ等とは異なる。
2. 毎年3月の月例大会から翌年の3月の準月例大会までの1年間の成績より各自のハンディキャップを決める。
新しいハンディキャップは、4月の準月例大会より適用する。
3. ハンディキャップは、月例・準月例大会で優勝すると2割(小数点以下は切り上げ)アップする。
例：ハンディキャップ 16の人が優勝すると $16 \times 0.2 = 3.2 \rightarrow 4$ $16 - 4 = 12$ 新ハンディキャップ 12
4. ネットが同スコアの場合、まず、ハンディキャップが少ない人が上位に、ハンディキャップが同一の場合、年齢が上の人が上位になる。
5. 途中入会者のハンディキャップについては、基本男性は25、女性は36とするが、入会后1ヶ月間の実績を見て、ハンディキャップ担当が調整を行う。この期間、月例・準月例大会に参加できるが、優勝、ポイントの取得はない。

6. 月例・準月例大会以外の大会(区民大会、遠征大会等)の優勝者のハンディキャップをあげるかどうかは会長が決める。

【 月例、準月例大会等大会のポイントについて 】

1. 月例、準月例大会において上位順位者にポイントを付与する。
2024年度は、月例優勝者 15 (準月例優勝者 7)、以下 月例・準月例大会共 第2位 5、第3位 4、第4位 3、第5位 2、第6位～第10位 1、BG 1。
2. 月例、準月例大会以外の大会についてポイントを付与するかどうかは会長が決める。
3. ポイントは年間(4月準月例～翌年3月月例大会)で累計し、上位ポイント獲得者(第1位～第5位)を表彰する。

【 表彰について 】

- 金沢区 TBG 協会では個別の大会の成績優秀者と年間を通して成績優秀者の大きく2つに分けて表彰を行う。
2. 個別の大会の表彰については、更に次の2つに分かれており、優勝、2位、3位等の成績優秀者を表彰する。
 - ① 当協会会員に限定し、年間に定期的に開催する大会
 - a. 月例大会、準月例大会 当大会は毎月開催し、表彰は優勝者に限る
 - b. マッチプレー選手権大会
 - c. 泥亀大会
 - d. その他の大会 例) 遠征大会
 - ② 当協会会員に外部のプレーヤーを加え、年間に定期的に開催する大会
 - a. 金沢区民 TBG 交流大会
 - b. 3区交流 TBG 大会
 3. 年間(4月準月例～翌年3月月例大会)を通して成績優秀者に対して下記の表彰を行う。
 - ① 優秀年間ポイント獲得者 第1位から第5位 尚、第2位が二人いる場合、次の人は第4位になる。第5位が二人以上いる場合、全員に対して表彰する。
 - ② 年間最多優勝回数 該当者が複数名いる場合、全員に対して表彰する。
 - ③ 年間最多ホールインワン達成者 第1位～第3位 同位該当者が複数名いる場合、上記②③と同様に扱う。
 - ④ 年間最高 BG(ベストグロス)達成者 該当者が複数名いる場合、全員に対して表彰する。
 4. 前記2つの表彰の他に年間を通して当協会に著しい貢献をした会員に対して会長特別賞の表彰を行う。
 5. 前記2の表彰はそれぞれの大会終了後に個々に行い、3と4の表彰は4月又は5月の総会時に別途行う。

【 組合せメンバーの移動について 】

1. 月例大会においては、ハーフラウンドを回った後の組合せメンバーの移動はしない。
2. 準月例大会においては、ハーフラウンドを回った後に組合せメンバーの移動を行う。
この場合、第2位のメンバーがそれぞれ次の組に移動する。

【 ホール飛ばし、追い越しについて 】

1. 月例大会においては、ホール飛ばし、追い越しは一切できない。必ずスタートのホールからコースナンバー

順に回る。

2. 準月例大会においては、円滑なゲームの進行のため、空いているホールへホール飛ばしや前の組を抜いた追い越しができる。この場合、1～9番ホールの全てを間違いなく回ること。回っていないホールや同一ホールを必要数以上回った場合は全員失格となる。

【 OKによるホールアウトについて 】

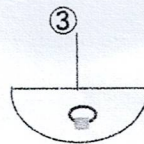
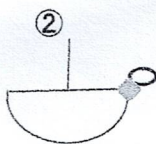
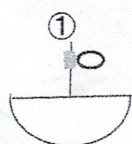
1. 月例大会においては、OKによるホールアウトはできない。
2. 準月例大会においては、OKによるホールアウトができる。
OKができるのは、セカンドホールの輪から概ねワングリップ(約30CM)の範囲内とし、同一組のメンバーによる承認を必要とする。尚、打数は+2となるので間違いのないようにすること。

【 特殊なホールアウトの打数について 】

1. ボールがホールの網等に引っかかった特殊な場合のホールアウト打数は次の通り。

a. は合計打数、b. はショートホールのティーショットの場合のスコア

- | | |
|-----------------------------|------------------|
| ① ホールの旗あるいはその棒に引っかかった場合 | a. 1打、b. ホールインワン |
| ② ホールの網の端に引っかかりボール部分は網の外の場合 | a. 2打、b. バーディー |
| ③ ホールの網の下の外側に引っかかった場合 | a. 2打、b. バーディー |



【 片付けについて 】

1. 月例大会においては、9ホール終了後、各組単位で最終ホールの用具を片付ける。

この場合、未だプレイをしている組に迷惑にならないよう整然と行う。

尚、該当組のない最終ホールについては、事業部長（いない時は副会長）は、未だプレイしている組の状況をつぶさに確認し、手の空いているメンバーに対し未だプレイしている組の迷惑にならないよう片付けを整然と行なわせる。

2. 準月例大会においては、9ホール終了後、一旦各自それぞれの場所に待機する。

事業部長（いない時は副会長）は、未だプレイしている組の状況をつぶさに確認し、片付けをスタートするかどうかを判断する。片付けをスタートする場合、どのホールかを明示するとともに、未だプレイをしている組に迷惑にならないよう整然と行なわせる。

【 特設ティーの目印について 】

1. 金沢区TBG協会は、特設ティーの目印として水色のゴルフボール(釘付き)を2か所設置する。
ティーショットは、ボール目印2か所の間で打つ。

【 月例、準月例大会での練習について 】

1. 月例大会、準月例大会とも大会前の練習時間以外には空いているホールで練習してはならない。 以上